

北区における新型コロナウイルス感染症関連アンケートについてご報告

令和2年11月16日

北区在宅医療・介護連携相談支援室

大阪市北区内の在宅医療介護職の皆様は新型コロナウイルス感染症が続く中、ご多忙のことと存じます。このような忙しい最中に、行政を含めた多職種連携の課題、対策を検討したいとアンケートをお願いし、多数の方にご協力頂きましたことを感謝申し上げます。このたび全職種のアンケートの結果よりみえてきた課題および対策（案）を検討しまとめましたのでご報告いたします。ご報告が大変遅れましてお詫び申し上げます。

1. アンケート調査対象期間 令和2年1月～5月

2. アンケート調査実施期間 令和2年6月～8月

3. アンケート方法

- ・各職種代表にアンケート協力依頼
- ・各職種の代表の方とアンケート内容検討

（居宅介護事業所と訪問介護事業所に関しては地域包括支援センターと共に検討）

- ・各職種代表、または北サポよりメール、FAX、郵送、手渡しで配布し FAX またはメールにて返送

4. アンケート協力機関とその回答数

在宅医（北区医師会）【8】 在宅医（大淀医師会）【5】 北区・大淀歯科医師会【5】

北区・大淀薬剤師会【40】 訪問看護ステーション【22】 地域包括支援センター【2】

居宅介護事業所【35】

訪問介護事業所【13】 病院地域連携室【7】

5. 結果

1) 新型コロナウイルス感染症の業務への影響

- ・全ての職種で何らかの影響があったと回答があった

2) 新型コロナウイルス感染症の業務への影響を与えた要因

(1) 多職種に共通していると考えられた要因

- ①通所系・入所系サービスの中止・利用制限
- ②患者・家族の訪問拒否

* サービス利用減少からADLの低下がみられていると回答多数あり

(2) その他の要因

職種	要因
在宅医（北区）	十分な連絡が取れない、情報が得られない状況
薬剤師	0410 対応関連（戸惑い、作業負担など） 薬剤の供給不安定（原薬不足、配送業者の減便など）
訪問看護 ST	利用者やスタッフが感染・濃厚接触者になった 入院中のターミナルの患者の面会制限に困り退院されて訪問看護導入
居宅介護事業所	休校などの影響でスタッフが休まざるを得なかった

訪問介護事業所	発熱のある利用者への対応（訪問の減らした、中止、やむを得ない場合のみ訪問）
地域包括支援センター	地域活動、講演会、研修会が出来ない 退院支援の相談で、カンファレンス等が開催されず面会もできない中で、MSW からの電話での情報だけで、ケアマネジャーの紹介等を行うことが難しかった 行政が一方向的に送ってくる通知の解釈が難しく、対応に苦慮した
病院地域連携室	退院カンファレンスの開催が緊急事態宣言中開くことができなかった 転院先での面会制限状況が転院調整に影響があった 居宅へ退院調整するのに、コロナが流行っている理由で家族より入院延長を求められた 施設へ調整するとき、施設より症状ないのにPCR検査を求められた 病状説明時家族に来院を拒否された。電話調整に変えると、そんな大事なことを電話で済ませるのかとも言われた

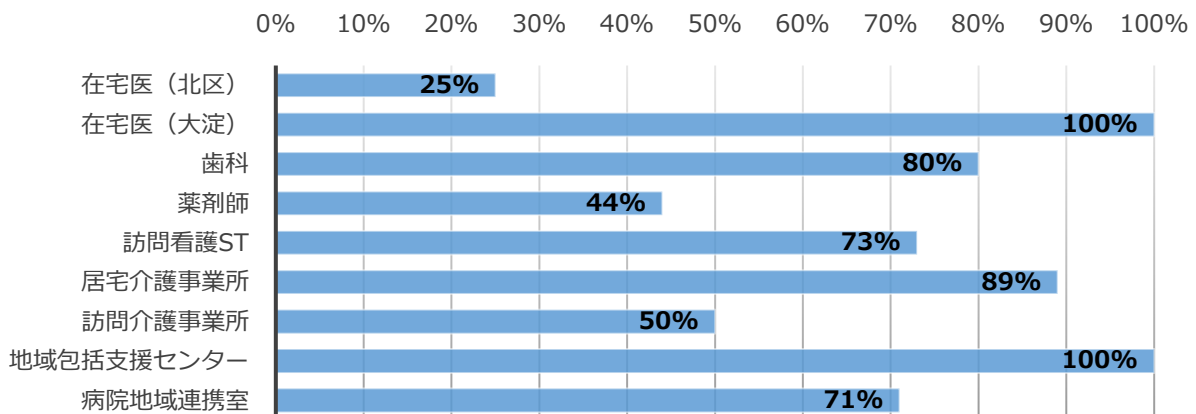
3) 感染防護用品の不足 *設問のあった職種のみ

○：回答あり ●：半数以上の回答あり -：回答なし

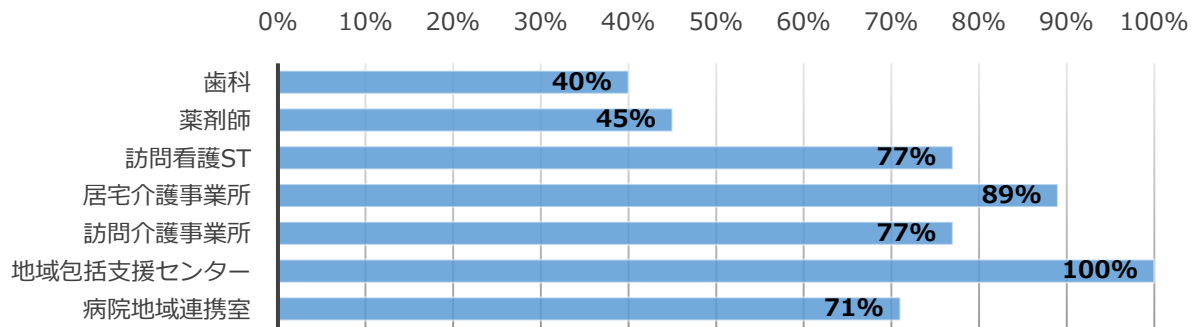
職種	不足した	内訳							
		マスク	N95	消毒類	石鹼	手袋	フェイスガード類	ガウン類	体温計
歯科	25%	○	○	○	○	○	○	○	○
薬剤師	27%	●	-	●	-	-	-	-	-
訪問看護 ST	59%	●	○	○	-	○	○	○	○
居宅介護事業所	49%	●	-	○	○	○	○	○	-
訪問介護事業所	69%	●	-	●	○	●	○	○	○
地域包括支援センター	100%	●	-	●	-	-	-	-	-
病院地域連携室	86%	●	●	○	-	○	○	○	○

4) 在宅医療介護連携の状況

(1) 同職種と連携した



(2) 多職種・行政と連携した



* 在宅医には設問なし

4) 行政・多職種連携への要望 (回答の詳細は各職種別のアンケート結果参照)

(1) 新型コロナウイルス感染症発症対応の情報提供

- ・新型コロナウイルス感染症疑いから陽性判明までの流れ
- ・陽性後の対応 等

回答：在宅医（北区） 薬剤師 訪問看護 ST 居宅介護事業所（回答多数） 訪問介護事業所

(2) 多職種・区民への感染予防対策周知

- ・区民が気軽に相談できる場づくり含む

回答：在宅医（北区） 薬剤師 地域包括支援センター 病院地域連携室

(3) 同職種・多職種間の情報共有と助け合いの向上

- ・0410 対応の周知
- ・リモート活用
- ・連携の場づくり
- ・風評被害にならない連携 等

回答：歯科 薬剤師 訪問看護 ST 居宅介護事業所（回答多数） 訪問介護事業所 病院地域連携室

(4) 入退院支援連携の向上（面会制限に関連するストレス）

回答：訪問看護 ST 病院地域連携室

(5) 感染防護具の確保

回答：薬剤師 訪問看護 ST 居宅介護事業所 訪問介護事業所

(6) 行政への意見

- ・感染防護具をつけての負担増に関連する診療報酬等のアップ
- ・業務負担を増やす行政の対応改善
- ・連絡の取りづらさ（電話が通じにくい）

回答：在宅医（大淀） 地域包括支援センター 病院地域連携室

5) 新型コロナウイルス感染症に関連して自分たちが協力できること * 設問のあった職種のみ

- ・感染予防の徹底や助け合い、情報共有する意欲がある

回答：居宅介護事業所 訪問介護事業所 地域包括支援センター 病院地域連携室

6. コロナ禍のみえてきた地域課題と対応案

強み

感染予防の徹底や助け合い、情報共有する意欲がある

